

体験活動

ガイドブック


プログラム企画・活動参考資料

野外活動ガイド

屋内活動ガイド

自然の家外施設ガイド

低学年向け活動ガイド

活動名	和紙作り				
概要	日本古来より伝わる和紙を作ります（ハガキサイズ）。				
時期	通年	所要時間	3時間程度	人数 (程度)	1グループ8名～10名程度（最大150名可能）
活動の持つ効果(特質)	①手作りの良さを味わう。 ②リサイクルの仕組みを知ることができる。				
準備物	青少年自然の家で貸し出すもの			団体・個人で準備するもの	
	①ミキサー ②すき船容器 ③手すき枠 ④吸水タイル ⑤コップ ⑥網 ⑦さらし ⑧アイロン			<input type="checkbox"/> 紙原料 （1パックで10人程度，500円，1パックでハガキが約20枚，コースター約15枚） <input type="checkbox"/> 新聞紙（水気をとり，アイロン台の代わり）	
手順	【和紙の作り方】 ①活動の30分前までに，団体の担当者が自然の家職員と打ち合わせを行います。 ②材料を売店で受け取ります。 ③活動場所で自然の家職員が説明します。用具の貸し出しと後片づけの方法，作り方，安全上の注意点など。 ④終了後，用具等の片づけと清掃を行います。				
留意点	①道具は元あった場所に返却してください。 ・1班で，「すき船1，ミキサー1，アイロン2，和紙すき用具セット10」を使います。 ②ミキサーやアイロンなどの適切な使用の仕方を伝えてください。 ③紙に滴る程度の水が含まれた状態で，アイロンは使用しないでください。 ④さらし布，ミキサー，すき板などはよく洗って返却してください。 ⑤すき船の残り水は，ザルでよくこしてから捨ててください。				
方法 (内容)	①木枠の形をかえるとハガキやコースター以外の形ものものできます。 ②作ったハガキは，切手を貼って出すことができます（切手は売店で販売しています）。				



ミキサーに紙の原料を入れます。



ミキサーにカップ1杯の水を入れます。



スイッチを入れ混ぜます。



できた原液をすき船容器に入れ、水を6分目まで入れます。



枠を作り、原液をでこぼこにならないようにすくいます。



水が抜けたら内枠を取り、すいた和紙の形をくずさないよう金網ごと取り出します。



板の上にさらしをひいて、その上に金網をひっくり返し金網の上から吸水タオルで水分を取ります。



アイロンで上から押さえて残った水分を乾かします。

